

かぶ

農薬取締法上「かぶ」は、「非結球あぶらな科葉菜類」には含まれない。葉を食用とする場合も、必ず「かぶ」か「根菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

————— 発病・加害時期
 ════════ 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏	ま								●	●	■		
晩夏	～								●	●	■		
秋	ま								●	●	■		
根	こ												
ア	ブ												
コ													
ネ	キ												
ヨ	ト												
ア													
キ	ス												
カ	ブ												

根こぶ病

留意事項

- 1 作条施用は、土壌と良く攪拌する。

防除方法

- 1 あぶらな科野菜の連作を避ける。
- 2 排水を良好にする。
- 3 石灰質資材を施用し、土壌酸度を矯正する。
- 4 発病根は、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 5 発病の恐れのある場合には、下記の薬剤を施用する。

・ [ネビリュウ](#) <36>

【30kg/10a 全面土壌混和 は種前/1回】または

【20kg/10a 作条土壌混和 は種前/1回】

・ [フロンサイド粉剤](#) <29> 【30~40kg/10a 全面土壌混和 は種又は定植前/1回】

・ [ランマンフロアブル](#) <21> 【2000倍 かん注 は種時/1回】

- 6 下記の薬剤で土壌消毒を行う。(XⅢ土壌消毒 2土壌病害虫等を対象とした薬剤による土壌消毒 (4) 参照)

・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 <->

【20~30kg/10a は種又は定植21日前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

アブラムシ類

防除方法

- 1 は種時に下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) <4 A> 【4kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A> 【3000倍 3日/2回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A> 【2000倍 21日/1回】
 - ・ [サフオイル乳剤](#) <->
【野菜類（除いちご、トマト、ミニトマト） 300~500倍 前日/ー】

コナガ

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフーム乳剤](#) <6> 【2000倍 3日/2回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <1 3> 【2000倍 前日/2回】
 - ・ [ディアナSC](#) <5> 【2500~5000倍 前日/2回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) <2 2 B> 【1000倍 3日/2回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> （IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

ネキリムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ダイアジノン粒剤5](#) <1 B> 【6kg/10a 土壌表面散布 出芽時/1回】

ヨトウムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <1 3> 【ヨトウムシ 2000倍 前日/2回】
 - ・ [ディアナSC](#) <5> 【ハスモンヨトウ 2500~5000倍 前日/2回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) <UN> 【ハスモンヨトウ 1000倍 3日/2回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> （IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

アオムシ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【2000倍 前日/2回】
 - ・ [ブロフレアSC](#) <3 O> 【2000~4000倍 前日/3回】
 - ・ [ディアナSC](#) <5> 【2500~5000倍 前日/2回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) <2 2 B> 【1000倍 3日/2回】
 - ・ **BT剤** <1 1 A> (区野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

キスジノミハムシ

防除方法

- 1 は種時に下記の薬剤を施用する。
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) <4 A> 【6kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】
 - ・ [フォース粒剤](#) 劇 <3 A> 【4kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】
- 2 成虫に対して下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ブロフレアSC](#) <3 O> 【2000~4000倍 前日/3回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) <2 2 B> 【1000倍 3日/2回】

カブラハバチ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A> 【4000倍 21日/1回】
 - ・ [マラソン乳剤](#) <1 B> 【1000倍 14日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。